

小学校、中学校、高校でのアフリカ各国との交流

TICAD9横浜開催を契機としたアフリカとの次世代交流の推進のため、市立の小中学校、高校を対象に、JICA、駐日アフリカ各国大使館、国際機関等と連携して、講座や交流を実施しました。また、市立小中学校の給食では、アフリカ料理を提供する取組を行いました。

開催概要

期 間：2024年4月～2025年8月

会 場：横浜市立小・中学校、高校

主な参加者

横浜市立小・中学校、高校の生徒（部活動、委員会、学級、学年等）

内 容

JICA海外協力隊の経験者やJICA職員が学校を訪問し、講座や交流を行うことで、児童・生徒の皆さんは現場での様々な生きた体験を学びました。

- 国際協力、日本の援助（ODA）やJICAのSDGsへの取組
- アフリカの暮らしや活動体験等の講義
- ワークショップ、JICA横浜訪問等

また、駐日アフリカ各国大使館、世界食糧計画（WFP）、在日アフリカ人ネットワーク（ADNJ）等と連携し、アフリカ各国出身者が実際に学校を訪問し講義等を実施する他、学校でアフリカ料理を提供する等、給食の機会を活用した交流を実施しました。

【小学校での交流】

三保小学校



2024年9月3日
ガーナ共和国
JICA出前講座

箕輪小学校



2024年10月7日
ボツワナ共和国
JICAオンライン講座

太尾小学校



2024年10月10日
ケニア共和国
JICA出前講座

上山小学校



2024年10月17日
ナミビア共和国
JICAオンライン講座

三保小学校



2024年11月5日
横浜市国際学生会館のガーナ人留学生との交流

桜岡小学校



2025年1月21日
コートジボワール共和国
国際局職員による現地訪問の報告



2025年3月18日
コートジボワール共和国アトランティッド小学校
オンライン交流



茅ヶ崎小学校



2025年6月20日
駐日ボツワナ共和国大使館 ダニエル・カサ臨時代理大使
国際理解教室

常盤台小学校



2025年7月3日
駐日ケニア共和国大使館 ジェニファー・ンジュグナ 一等参事官
世界食糧計画 (WFP) 日本事務所 津村康博代表
特別授業

ケニア料理給食 (カランガ)

潮田小学校放課後キッズクラブ



2025年7月18日
駐日南アフリカ共和国アナリーズ・シュローダー臨時代理大使
ネルソンマンデラデー

【中学校での交流】

希望が丘中学校



2025年2月6日
駐日ケニア共和国大使館との交流
訪問交流

新羽中学校



2025年2月28日
駐日セネガル共和国大使館 ジャン・アントワヌ・デュフ
特命全権大使
世界食糧計画 (WFP) 日本事務所 津村康博代表
特別授業



セネガル料理給食 (ヤッサブレ、チェブジェンの具)

「アフリカに一番近い都市・横浜」
横浜は、TICAD9のホストシティです。

今年(2025年)開催されるTICAD9は、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。
今月の給食では、国連世界食糧計画(WFP)が給食支援を行っている国のひとつである、セネガルの料理を取り入れました。

◎2月28日(金)

ヤッサブレ
鶏肉やたまごを煮て、野菜と混ぜたソースで、セネガル産の野菜が主。

チェブジェンの具
チキンは、鶏と野菜をルーで煮た具とセネガルの野菜、当地の民族衣装で「アフリカ」の要素が盛り込まれる。

「国連世界食糧計画(WFP)」とは
世界120以上の国と地域に拠点を持つ国際機関で、500以上の「つながりゼロ」を目標し、途上国の子どもたちに学校で給食を提供する支援などを行っています。

世界には、授業や家事を手伝うための通学すらできない子どもたちがたくさんいますが、給食があることで、親が子どもを学校に通わせるきっかけになります。
また、WFPは「地産地消」も推進しています。食料を作る人、運ぶ人、調理する人を地元から雇用することで、地域が活性化します。

WFP Japan Page | ©2025 WFP

【高校での交流】

横浜商業高等学校



2024年7月12日
在日アフリカ人ネットワーク (ADNJ)
講話

横浜サイエンスフロンティア高等学校



2024年11月21日
駐日チュニジア共和国大使館との交流



2024年11月22日
駐日ブルキナファソ大使館との交流



2024年11月22日
駐日レント王国大使館との交流

横浜商業高等学校と ルワンダのムハンガ教員養成校のオンライン交流

横浜市立横浜商業高等学校の生徒が、ルワンダ共和国ムハンガ教員養成校（※高等学校相当）の生徒とオンライン交流を実施しました。

開催概要

日 時：2025年5月13日(火)15:30~17:30

会 場：横浜市立横浜商業高等学校

主 催：横浜市国際局

共 催：JICA（独立行政法人国際協力機構）、NPO法人Forum2050、教育委員会事務局

参加人数

30人（日本側11人、ルワンダ側19人）

内 容

日本とアフリカの若者がつながり、共に未来を考える機会とすることを目的に、JICA（独立行政法人国際協力機構）およびNPO法人Forum2050と連携して実施しました。

当日は、Forum2050の戸田代表がファシリテーターを務め、ルワンダの現地で活動するJICA職員の協力のもと、使用言語は全て英語で実施しました。

生徒たちはホワイトボードに映し出されたお互いの表情を確認しながら、日本とルワンダに共通していることを探したり、「自分たちが望む未来」について質問し合うなど、2時間かけて対話しました。



オンライン交流の様子

万博国際交流プログラム

本プログラムは、大阪・関西万博を契機として、地域住民と万博参加国の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための内閣官房による枠組みです。本市では、この枠組みを活用し、世界で活躍できる次世代の育成の一環として、アフリカ各国との交流を実施しています。

開催概要

期 間：2024年11月～2025年 8月

主 催：横浜市国際局

内 容

<代表的な交流>

- 横浜市立南高等学校とガーナ・アチモタ高校の交流
2024年11月14日～17日：ガーナの高校生来日・南高校との交流
- 横浜市立横浜商業高等学校とケニア・アライアンス高校の交流
2025年 2月10日～17日：横浜商業高校の生徒によるケニア訪問・交流
2025年 8月 3日～ 6日：アライアンス高校の生徒による横浜商業高校訪問・交流
- 横浜市国際学生会館とエチオピアの交流
2025年 6月 3日：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校の生徒と駐日エチオピア大使との交流
- 第10回 SEISA Africa Asia Bridge 2024 (SAAB)
2024年11月 9日：星槎高等学校における国際交流フェスティバルの実施



2024年11月14日～17日
ガーナの高校生来日・南高校との交流



2025年 2月10日～17日
横浜商業高校の生徒による
ケニア訪問・交流



2025年 8月 3日～ 6日
ケニア・アライアンス高校の生徒による
横浜商業高校訪問・交流



2025年 6月 3日
横浜サイエンスフロンティア高校と
ダバ・デベレ・フンデ 駐日エチオピア
特命全権大使との交流



2024年11月 9日
第10回 SEISA Africa Asia Bridge 2024 (SAAB)

小・中学校、高校のアフリカとの交流実施状況

2021年4月から2025年8月までの交流実施状況を一覧にしたものです。

区名	学校名	交流国	実施日
【2021年度】			
神奈川	幸ヶ谷小学校	ガーナ共和国	6月29日
中	本牧南小学校	アルジェリア民主人民共和国	11月8日
港南	桜岡小学校	コートジボワール共和国	2022年1月17日、1月21日
保土ヶ谷	富士見台小学校	マダガスカル共和国	6月16日
港北	城郷小学校	ブルキナファソ	7月12日
緑	田奈中学校	モロッコ王国	6月16日、6月18日
	三保小学校	ナイジェリア連邦共和国	6月29日
	田奈中学校	モロッコ王国	7月7日
青葉	美しが丘東小学校	ブルキナファソ	11月24日
	桂小学校	モロッコ王国	12月7日、12月13日
都筑	茅ヶ崎小学校	ボツワナ共和国	6月30日、12月16日～12月23日、 2022年2月9日～2月14日
	早淵中学校	アンゴラ共和国	2022年1月31日
栄	西本郷中学校	コートジボワール共和国	6月17日
【2022年度】			
鶴見	寺尾小学校	ウガンダ共和国	7月7日
		ケニア共和国	7月7日、 2023年2月9日、3月6日、3月10日
港北	篠原中学校	ギニア共和国	9月6日
戸塚	倉田小学校	ウガンダ共和国	6月23日、11月1日、11月14日、11月15日
栄	小菅ヶ谷小学校	ブルキナファソ	6月7日
	豊田小学校	ルワンダ共和国	7月8日、11月21日、2023年1月23日
	庄戸小学校	ウガンダ共和国	9月22日、2023年2月17日
【2023年度】			
鶴見	寺尾小学校	タンザニア連合共和国	2024年2月14日、 2024年2月14日～3月15日
港南	永野小学校	セネガル共和国	7月4日、12月5日、2024年1月9日
	東永谷中学校	ザンビア共和国	2024年2月21日
保土ヶ谷	今井小学校	ウガンダ共和国	2024年2月15日
旭	本宿中学校	チュニジア共和国	7月18日、9月12日、2024年1月26日
	希望が丘中学校	レソト王国	2024年2月8日
港北	大綱中学校（中学1年生）	タンザニア連合共和国	6月29日
	大綱中学校（中学2年生）	タンザニア連合共和国	6月29日
	大綱中学校（中学3年生）	タンザニア連合共和国	6月29日
	篠原中学校	ギニア共和国	2024年3月5日
緑	田奈中学校	ルワンダ共和国	7月14日、10月12日～10月13日
	三保小学校	マラウイ共和国	10月3日
栄	小菅ヶ谷小学校	エジプト・アラブ共和国	6月1日

区名	学校名	交流国	実施日	
【2024年度】				
鶴見	潮田小学校	ウガンダ共和国	7月3日	
	横浜サイエンスフロンティア 高等学校	チュニジア共和国	11月21日	
		ブルキナファソ	11月22日	
		レソト王国	11月22日	
		タンザニア連合共和国	12月18日	
中	東小学校	マラウイ共和国	11月5日	
南	横浜商業高等学校	-	7月12日、11月15日	※2
	横浜商業高等学校	ケニア共和国	2025年2月13日	※1
	平楽中学校	マラウイ共和国	2025年2月28日	
港南	南高等学校	ガーナ共和国	11月15日～11月16日	※1
	桜岡小学校	コートジボワール共和国	12月17日、2025年1月21日、3月18日	※2
旭	本宿中学校	-	8月21日	
	星槎高等学校	マラウイ共和国・コートジボワール共和国・セネガル共和国・ブルキナファソ・ウガンダ共和国・マリ共和国	11月9日	※1
	希望が丘中学校	ケニア共和国	2025年2月6日	
	本宿中学校	ウガンダ共和国	2025年3月7日、3月24日	
港北	篠原中学校	ウガンダ共和国	9月4日	
	箕輪小学校	ボツワナ共和国	10月7日	
	太尾小学校	ケニア共和国	10月10日	
		ボツワナ共和国	10月15日	
		-	11月8日	
新羽中学校	セネガル共和国	2025年2月28日	※2	
緑	三保小学校	ガーナ共和国	9月3日、11月5日	
	上山小学校	ナミビア共和国	10月9日、10月10日、10月17日、10月24日	
都筑	茅ヶ崎小学校	ボツワナ共和国	6月28日	※2
【2025年度】				
鶴見	横浜サイエンスフロンティア 高等学校	エチオピア連邦民主共和国	6月3日、7月13日	※1
	潮田小学校放課後キッズクラブ	南アフリカ共和国	7月18日	※2
神奈川	中丸小学校放課後キッズクラブ	ケニア共和国	8月20日	※2
南	横浜商業高等学校	ルワンダ共和国	5月13日	※2
		ケニア共和国	8月3日～8月6日	※1
保土ケ谷	常盤台小学校	ケニア共和国	7月3日	※2
青葉	青葉台中学校	-	8月1日	
都筑	茅ヶ崎小学校	ボツワナ共和国	6月20日	※2

※1：万博国際交流プログラムによる交流
 ※2：学校独自の取組等

「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」

約半年間、大学生等がテーマごとのグループに分かれ、アフリカにおける現状の分析や課題の検証、またその課題の解消に向けたアイデアについてディスカッションを行い、成果として約3分の動画にまとめ、発表を行いました。

実施概要

期 間：2024年11月30日～2025年5月31日

会 場：市内各所

主 催：横浜市国際局

協 力：JICA横浜センター

企画協力：横浜市立大学 吉田 栄一 教授（アフリカ開発援助研究）

アドバイザー：横山 仁美 氏（開発コンサルタント（国際協力））

参加人数

約100人

主な参加者

市内外の大学生・大学院生

内 容

1 キックオフセミナー

(1) 日時：2024年11月30日(土)14:00～17:00

(2) 会場：Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO

(3) 内容：テーマごとのグループに分かれて、今後の活動テーマについて話し合いました。また、ゲストスピーカーの世界食糧計画（WFP）日本事務所 津村康博代表による講演を行いました。



世界食糧計画（WFP）日本事務所
代表 津村康博氏による講演



開会前のカラモ・シソコ氏による演奏



グループワークの様子

2 個別グループワーク

(1) 期間：2024年12月～2025年5月

(2) 内容：グループごとに関係者へのインタビューやディスカッション、動画の作成を行いました。

3 中間セミナー

- (1) 日時：2025年3月1日(土)13:00～18:00
- (2) 会場：Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO
- (3) 内容：各グループの調査・検討状況の進捗発表を行い、アドバイザー等からの質疑やコメントを踏まえ、最終発表に向けた内容のブラッシュアップを行いました。また、ゲストスピーカーのJICA横浜センター 鈴木唯香氏および荏原製作所 辻 健氏による講演を行いました。



中間発表の様子

4 最終セミナー

- (1) 日時：2025年5月31日(土)10:00～16:00
- (2) 会場：JICA横浜 体育館
- (3) 審査員：
 - ・ウスビ サコ 東京都公立大学法人 理事（京都精華大学 元学長／名誉教授）
 - ・徳永 達己 拓殖大学副学長／国際学部教授（山梨県立大学国際政策学部客員教授）
 - ・坂田 ミギー SHIFT80代表（クリエイティブディレクター／エッセイスト）
 - ・大野 裕枝 国際協力機構（JICA）横浜センター所長（兼 海外移住資料館館長）
 - ・国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所

(4) 内容：

各グループが関心を持った課題に対し、解決するためのアイデアを動画にまとめ発表を行いました。京都精華大学元学長のウスビ・サコ氏らによる審査が行われ、計18グループの発表の中から、最優秀賞や優秀賞が選出されました。最優秀賞には、生理用ナプキンをカプセルトイに入れ、学校に設置するアイデアが選ばれました。また、国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所の近藤 千華氏による講演を行いました。

国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所
近藤千華氏による講演

最終セミナーでの発表



最優秀賞グループの表彰



優秀グループの表彰



全体集合写真

動画タイトル一覧

グループ名	動画タイトル
A	南スーダンの教育環境整備 ～ラジオ放送の活用～
B	「子どもたちのための居場所づくりプロジェクト」ーナイジェリアを例に
C	ブルキナファソの幼児教育～小さな庭プロジェクト～
D	Moonlight School Uganda ～明日の可能性を照らす夜間学校～
E	Edu Bus TERA KOYA
F	本当の自然・文化に触れるサントメプリンシペのツアープラン提案
G	Skill Bridge KENYA
H	コーヒー小規模生産者の所得向上プロジェクト
I	ウガンダにおけるファームステイ
J	運動会プロジェクト 女の子たちに希望と選択肢を
K	sany project～ナプキン専用ガチャでリプロダクティブヘルスライツを推進～
L	キベラスラムTVー都市開発×衛生改革:キベラスラムを変える新たな仕組みー
M	AfriTabi～タンザニアの観光ツアーと地域開発について考えてみた～
O	レンタル型電力の提供による電力不足問題の解決
P	母子の健康を守るー産科フィスチュラに焦点を当ててー
Q	ワーキングランチ with ユース
R	ウディを活かしてザンジバル女性の未来を明るく
S	アフリカ大陸共通通貨って?課題と解決策に迫る!!

※Nグループは辞退

最優秀賞

sany project～ナプキン専用ガチャでリプロダクティブヘルスライツを推進～



優秀賞 (順不同)

Skill Bridge KENYA



キベラスラムTVー都市開発×衛生改革:キベラスラムを変える新たな仕組みー



世界で活躍できる次世代の育成

駐日ザンビア共和国大使による
横浜市立大学での講演会

トバイアス・ムリンビカ駐日ザンビア共和国特命全権大使による英語での講演会を、横浜市立大学金沢八景キャンパスにて開催しました。講演では、「ザンビア共和国と日本国の二国間関係及びザンビアへの投資機会」をテーマにムリンビカ大使にお話しいただいた後、参加した学生との質疑応答や意見交換を行いました。

開催概要

日時：2024年11月19日(火)16:10~17:40

会場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス

参加人数

約75人

主な参加者

横浜市立大学学生、教職員

